

令和5年度

同窓会総会報告

令和5（2023）年度同窓会総会は2023年10月28日（土）、ホテルグランヴィア京都にて開催されました。実に4年ぶりの対面開催となり、新型コロナウイルス感染症パンデミックの収束を告げる歓喜のひとつとなりました。

理事会

24名の理事が出席しました。相京重信会長（昭47）、依田高典理事長・経済学研究科長のあいさつで始まり、2023年1月に逝去された故・千葉昭副会長・香川支部長（昭44）に黙祷を捧げました。令和4年度事業及び会計報告（田中彰常務理事・副研究科長）、会計監査報告（吉田靖司監事、昭60）、新役員の選出、令和5年度予算案（田中常務理事）に続いて、依田理事長より今後の活動方針につ

いて提案があり、いずれも拍手をもって承認されました。活動方針は、①昨年度に報告した財政再建の課題について、改革第一弾として200万円の支出削減策を本部で検討し、次年度理事会・総会に諮ること、②全国会員向け「オンライン経済懇話会」の開始などを軸としています。

講演会・総会

講演会は文世一名誉教授・同志社大学教授により、「公共交通の経済分析」と題してなされました。人口減少と自動車依存の進行により、鉄道、バスなどの公共交通の持続可能性の問題に着眼し、公共交通のあり方について考察するとともに、Maasのような新しい公共交通システムにおける課題について解説をいただき、質疑応答も盛り上がりしました。

総会は諸富徹教授・理事を議長に選出し、相京会長のあいさつに続いて会計報告、新役員（田中常務理事）を承認、続いて記念写真を撮影しました。本総会にて、林田素行副会長（九州南部支部長、昭44）、柄澤康喜副会長（東京支部長、昭50）、葉真寺偉臣副会長（九州北部支部長、昭55）、丸野香代子理事（九州南部支部、昭55）、村上秀幸理事（同、平5）、原田佑嗣監事（近畿支部、平18）が新たに選出されております。なお、令和4年度決算および、本部役員一覧は本誌当該ページをご参照ください。

懇親会

池上惇先生はじめ4名の名誉教授と8名の教員の出席のもと、村田武副会長（愛媛支部長、昭41）の開会あいさつに続き、池上先生のご発声により乾杯となりました。

ホテルグランヴィア京都様に破格の条件で宴席を設けさせていただいたほか、同窓会本部により銘酒が用意され、笑顔と歓談が尽きることはありませんでした。

同年度内に支部長の交代があった各支部および支部総会を控える植野

吉郎副会長（近畿支部長、昭50）よりスピーチをいただき、依田理事長による閉会の辞をもって、盛況のうちにお開きとなりました。なお参加者全員に記念品として同窓会特製ミニノートをお持ち帰りいただきました。

田中彰（常務理事）



相京会長



文 名誉教授